

CentreCOM® x980 シリーズ

高速・高密度

VCStack

AW Plus

AMF Plus

Switch

LOOP Guard

VCS

AWC

VISTA MANAGER mini



AT-x980-32CQ-Z5



電源ユニット
AT-PWRSYS4-70-Z5



スベアファンモジュール
AT-FAN17-Z5
※ ファンモジュールはシャーシに5個標準装備されています。



QSFP+ モジュール/40G スタックモジュール
AT-QSFP28SR4-Z5
AT-QSFP28LR4-Z5 AT-QSFP28ZR4-Z5*1
AT-QSFP1CU-3CU-Z5
※ 1 受注生産品のため、納期につきましてはお問い合わせください。



QSFP28 モジュール/100G スタックモジュール
AT-QSFP28SR4-Z5 AT-QSFP28LR4-Z5
AT-QSFP28ZR4-Z5
AT-QSFP28-1CU-3CU-Z5



QSFP+4SFP+ ブレークアウトダイレクトアタッチケーブル
AT-QSFP-4SFP10G-3CU-Z5

※ 「-Z5」はデリバリースタンド5年加入権利付き
※ 本書では、10BASE-Tx/100BASE-Tx/1000BASE-T ポートを10/100/1000BASE-T ポートと表記しています。

QSFP+/QSFP28
32Slots

CentreCOM x980 シリーズは、大規模エンタープライズおよびデータセンター環境向けに設計された、高速・高密度な次世代スイッチです。

エンタープライズ市場では、フロアスイッチの広帯域化に伴い、それらを集約するコアスイッチとしての役割が求められており、本製品はそのニーズに応えるべく、40G/100G対応のQSFP+/QSFP28スロットを32スロット搭載し、1Uサイズで高い集約力と帯域を提供します。

データセンター市場においては、オールフラッシュストレージやプライベートクラウドの普及により、ラック間だけでなくラック内でも100G接続が求められるケースが増えています。特にNVMe over Fabricsなどの高速ストレージプロトコルを採用する環境では、コンピュータノードとストレージノード間の通信においても100Gが標準化されつつあり、ラック内・ラック間ともに100Gで統一されたネットワーク設計が現実的な選択肢となっています。

CentreCOM x980 シリーズは、こうした構成においてSpineスイッチとしての高い集約性能を発揮するだけでなく、Leafスイッチとしても十分なポート密度と帯域を備えており、Spine・Leaf両方のユースケースに柔軟に対応可能です。OSには既存製品と共通の「AW+」を採用しており、運用担当者にとっては新たな学習負担がなく、スムーズな導入と運用が可能です。

CentreCOM x980 シリーズは、エンタープライズとデータセンターの両市場において、これからのネットワークの中核を担う存在として、柔軟かつ強力なソリューションを提供します。

- OPTION
- 電源ユニット
- ファンモジュール
- QSFP+ モジュール
- QSFP28 モジュール
- 19"ラックマウントキット
- コンソールケーブル
- フィーチャーライセンス

本製品をご購入の際には、有償サポートサービスのご契約が必須です。
本体にサポートサービス(デリバリースタンド)の加入権をバンドルした型番をご用意しています。
デリバリー 2、デリバリー 6、またはオンサイトサービスをご希望の場合には、加入権がバンドルされていない型番にてご購入いただき、別途有償サポートサービスをご契約ください。

本データシートでは、製品名中の「CentreCOM」を一部省略しています。
弊社では、ネットワークマネージメント・ソフトウェア製品のお試し版を、Webサイトから提供しております。
弊社ホームページ (<https://www.allied-teselis.co.jp/support/list/nms/>) からダウンロードできます。

IoT Ready

クラウドサービスの本格利用、データセンター連携、無線LAN (Wi-Fi 7/6E/6)の高度化や映像・業務データの大容量化により、エンタープライズネットワークのバックボーンには、これまで以上に圧倒的な帯域性能と安定したトラフィックハンドリング能力が求められています。従来の10Gや25Gを集約する構成では、トラフィック集中による輻輳や構成の複雑化が避けられず、ネットワーク全体の設計・運用負荷が増大します。

x980シリーズは、全ポート100G対応のオール100G設計により、バックボーンにおける速度差や集約ポイントを排除し、シンプルかつ将来性の高いネットワーク構成を実現します。大規模キャンパスや複数拠点を結ぶエンタープライズバックボーン、データセンター連携やクラウド接続といった基幹ネットワークにおいて、安定した超高速通信と高信頼性を提供するコアスイッチとして最適です。

ネットワークインフラのユニファイド化

Autonomous Management Framework (AMF) は、ネットワーク上のスイッチやルーターを仮想的な1台の機器として統合管理し、管理運用の「一元化」、「簡素化」、「自律化」によって、管理・運用に関わるコストの削減を実現するネットワーク仮想化機能です。AMF Plusは統合管理を行うAMF Plusマスターと管理されるAMF Plusメンバーからなり、5つの機能によりネットワークの統合管理を行います。

また、AMF Plusは日々ネットワークの状態を収集分析によって学習し、AT-Vista Manager EXと組み合わせることで、あらかじめ定義されたポリシーを用いて自動的にネットワークを最適な状態に保ちます。蓄積したデータを数値化することにより、担当者の経験で行われていた業務を平易な作業に落とし込むことができます。

• 一元管理(セントライズドマネージメント)

AMF Plusマスターから多数のAMF Plusメンバーを一元管理します。

• 自動構築(オートレジリエントコネクション)

AMF Plusネットワークの自動構築およびAMF Plusメンバーの自動認識を行います。

• 自動復旧(スマートプロビジョニング)

AMF Plusメンバー設置時の自動設定(ゼロタッチインストール)、AMF Plusメンバー故障時における交換機器の自動復旧(オートリカバリー)、複数AMF Plusメンバーに対するファームウェアの一括アップグレードや設定変更、一括バックアップを行います。

• 非AMF Plus装置対応(ワイドエリアバーチャルリンク)

非AMF Plus装置の混在や広域商用回線を介したAMF Plusネットワークの構築が可能です。さらに、広域商用回線を介して本機能を利用しているAMF Plusメンバーの自動復旧にも対応します(ネイバーリカバリー、シングルノードリカバリー)。

• 分散マスター処理(AMF Plusコントローラー)

AMF Plusマスターの分散配置と統合管理により、大規模ネットワークに対応します。

さらに、AMF PlusとAT-Vista Manager EXと連携させることにより収集・分析されたネットワーク全体の情報を俯瞰的に可視化し、ネットワーク管理者の意図に基づいてネットワークを最適な状態に保ちます。

x980シリーズは対応するアニュアルライセンス^{*1}^{*2}を導入することで、以下の機能を有効にできます。

- AMF Plus マスター機能

標準では2メンバーまでの管理、AMF Plus マスターライセンス導入により最大300メンバーを管理できます。

- 無線LANコントローラー機能^{*3}

無線APの一元管理により、無線LANの運用を効率化するだけでなく、管理下無線APの使用チャンネルや送信出力を、周囲の環境変化に応じて自律的に調整するAWC (Autonomous Wave Control) によって、電波干渉の影響を軽減します。

標準では5台までの無線APを管理できます。無線LANコントローラーライセンスにより、最大305台まで管理台数を拡張可能です。

IoT Ready

x980シリーズはWeb GUIから有線・無線LANの統合管理が可能なVista Manager miniに標準で対応、管理者のスキルレベルを問わない、直感的なネットワーク管理を容易に実現します。

※1 1年、5年、7年の利用期限付きライセンスをご購入いただけます。AMF Plus機能はネットワーク構築にもご利用可能です。そのため、利用期限5年間および7年間のライセンスは構築・検証用の期間1年間を考慮し、5年間のライセンスは合計5年間の期限付きライセンスとして、7年間のライセンスは合計7年間の期限付きライセンスとして提供しております。

高帯域・サーバー集約

100G対応ポートを高密度に搭載し、多数のサーバーやストレージから発生する大容量トラフィックを余裕をもって収容します。サーバー集約や仮想化基盤、バックアップ/レプリケーションなど、トラフィックが集中する環境においても、安定した高速転送を実現します。

小規模なデータセンターやエンタープライズのサーバー集約基盤において、高い拡張性と将来性を備えたネットワーク・コアを構築できます。

※2 アニュアルライセンスが設定された機器が故障した場合または何らかの理由で交換する際に、機器本体の保証期間内または有償保守サポートサービス契約期間内でかつライセンスの利用期限内であることを条件に、ライセンス再発行を弊社にて行います。

このとき、必要な情報を確認させていただくと共に、ライセンスの設定作業はお客様作業とします。

ライセンスの利用期限が機器本体の製品保証期間を超える場合は、有償サポートサービスへの加入をお勧めします。

※3 AT-TQmシリーズは最大で100台までの管理となります。

バーチャルシャーシスタック (VCS)

スイッチ間をスタックモジュールで接続することで、最大2台のx980シリーズを1台の仮想スイッチとして扱うことが可能になります。

本シリーズは、QSFP+/QSFP28スロットを用いたVCSに対応しています。

スタック接続されたスイッチは各種情報を同期しているため、仮に1台に障害が発生しても運用継続が可能です。

さらに、LD-VCS (ロングディスタンスバーチャルシャーシスタック)にも対応し、長距離スタッキングが可能です。

これにより、離れたロケーションにあるスイッチを仮想的に1台のスイッチ化し、シンプルかつ冗長性に優れたネットワークコアの提供が可能となります。

AlliedWare Plus (AW+)

機能ごとのモジュールに分割されており、単一の障害が与える影響範囲を最小限に抑えることが可能です。これにより、旧来方式の製品と比べシステム全体の可用性が格段に高まります。

また、業界標準のコマンド体系に準拠し、他社製品からの移行においても、エンジニアの教育にかかる時間と経費を大幅に削減することができます。

高可用性

電源ユニット、ファンモジュールに加え、拡張モジュールもホットスワップ (本体運用中の挿抜) に対応します。これによりネットワークを停止することなくシステムの拡張、変更が可能となります。

アクティブファイバーモニタリング

光ファイバーの受信光レベルを常に監視し、設定したしきい値を下回ると自動的にポートのリンクダウンやSNMPトラップによる通知を実施することができるため、光ファイバーケーブルの破損などの状況を迅速に把握することができます。

※4 QSFP28光ファイバーポートでのみ有効。本機能をサポートするQSFP28モジュールについては、コマンドリファレンスをご覧ください。

Web GUIを用いた直感的な管理

Webブラウザから機器の情報表示や設定が可能なWeb GUIを標準でサポートします。

基本的な操作に加え、有線・無線ネットワークの統合的な管理を実現するVista Manager miniが含まれるため、管理者のスキルレベルを問わない、直感的なネットワーク統合管理をサーバーレスで実現できます。

• 日本語に対応したインターフェース

日本語表示に対応し、Webブラウザからの視覚的な設定・管理が可能です。

• ダッシュボード

ポートの状態、トラフィック統計情報、システム情報など視覚的に表示します。各種情報を要約して表示できるため、複雑なネットワーク情報を簡単に把握できます。



CentreCOM® x980シリーズ

・ ネットワーク設定

VLANインターフェースやインターフェースのIPアドレス、スタティック経路の追加・変更・削除が可能です。

・ セキュリティ設定

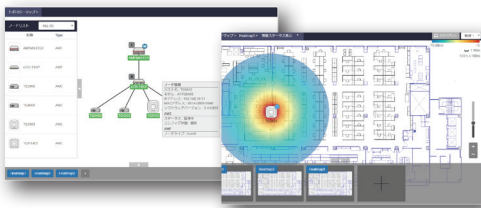
ハードウェアアクセスリスト (ACL) の作成やインターフェースへの設定、変更が可能です。

・ システム設定

システム情報や動作環境の詳細、システムログの閲覧などが可能です。

・ ネットワークマップ・無線LANコントローラー

本製品が管理するAMF Plus ノードおよび無線APの接続構成を自動的に認識の上、接続構成図として表示でき、また、ヒートマップで無線APの電波状態を表示します。ネットワーク構成と状態の見える化により、実態の把握が難しい有線・無線ネットワークの効率的な運用管理が可能となります。

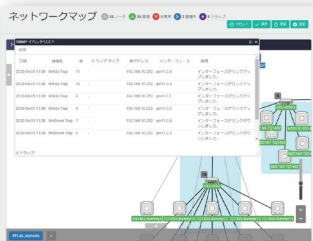


・ SNMPでのデバイス検知

AMF Plus ネットワーク内のARP/SNMPノードを検出し、情報を表示することが可能になります。検出されたSNMPノードのアイコンは自動配置され、ARPノードのアイコンはドラッグアンドドロップにて移動できるため、実際のネットワーク構成をトポロジーマップへ反映することができます。

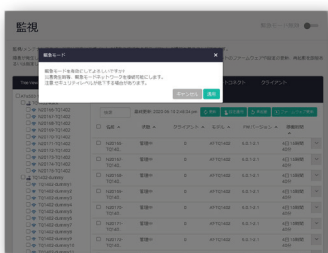
また、管理下のSNMPノードから以下のSNMPトラップ受信も可能となり、ネットワーク状態の一元管理を促進します。

【SNMPトラップ】 インターフェース (リンクアップ/ダウン) ・ PoE (有効/無効) ・ STP (ルートポート変更/トポロジーチェンジ) ・ SFP (受信光レベル超過/低下) ・ PSE (給電開始/停止) ・ ループ検知 ・ MACアドレススラッシング ・ 機器の起動



・ 緊急モード

複数台の無線APに対して、緊急時用として設定されているSSIDを一括で有効化/無効化できます。災害時の無線LAN開放を簡単な操作で実現します。



サポートサービス

本製品本体および専用のオプション品には、弊社サポートサービスにご加入いただける権利が付属されています。

- ・ サポートサービスの種類と年数により、製品型番の下2桁が異なります。
- ・ 下2桁目がサポートサービスの種類を表し、Zは「デリバリースタANDARD」、下1桁目は提供年数を表します。
- ・ 保守メニューの詳細については、弊社ホームページ(<https://www.allied-tesis.co.jp/support/nwsupport/>)をご覧ください。

仕様

スイッチ本体

準拠規格	IEEE 802.3az 10BASE-T ^{*1} IEEE 802.3u 100BASE-TX ^{*1} IEEE 802.3ab 1000BASE-T ^{*1} IEEE 802.3ba 40GBASE-CR4/ER4/LR4/SR4 ^{*2} IEEE 802.3ba 100GBASE-LR4 ^{*2} IEEE 802.3bj 100GBASE-CR4 ^{*2} IEEE 802.3bm 100GBASE-SR4 ^{*2} IEEE 802.1D-2004 Spanning Tree, Rapid Spanning Tree ^{*3} IEEE 802.1Q-2005 VLAN Tagging, Multiple Spanning Tree ^{*3} IEEE 802.1Qaz Enhanced Transmission Selection IEEE 802.1AB Link Layer Discovery Protocol IEEE 802.1AX-2008 Link Aggregation (static and dynamic) ^{*5} IEEE 802.1p Class of Service, priority protocol	
適合規格	CE 安全規格 UL62368-1, CSA-C22.2 No.62368-1 EMI規格 VCCIクラスA EU RoHS指令	
マネージメント ^{*6}	SNMP	SNMPv1/v2c/v3
	SNMP MIB	MIB II (RFC1213) IP Forwarding Table MIB (RFC2096) Extended Bridge MIB (RFC2674) ^{*7} Extended Interface MIB (RFC2863) SNMPv3 MIB (RFC3411 ~ RFC3415) SNMPv2 MIB (RFC3418) Ethernet MIB (RFC3635) IEEE 802.3 MAUs MIB (RFC3636) Bridge MIB (RFC4188) RSTP MIB (RFC4318) DISMAN ping MIB (RFC4560) VRRPv3 MIB (RFC6527) Entity MIB (RFC6933) LLDP MIB (IEEE 802.1AB) LLDP-MED MIB (ANSI/TIA-1057) Private MIB
	RMON	1,2,3,9 Group
	ターミナル	Telnet, VT100互換端末 (コンソールポート経由)
通信速度	10Mbps ^{*1} /100Mbps ^{*1} /1000Mbps ^{*1} /10Gbps ^{*2} /40Gbps ^{*2} /100Gbps ^{*2}	
ポート	QSFP+/QSFP28スロット	× 32
	コンソールポート	RS-232 (RJ-45コネクタ) × 1 ^{*8}
	マネージメントポート	10/100/1000BASE-T (RJ-45コネクタ) × 1
		オートネゴシエーション ^{*9} 10M/100M/1000M Full固定設定 MDI/MDI-X自動認識
	USBポート	USB 2.0、タイプA (メス) × 1 ^{*10}
スロット	電源ユニットスロット	× 2
	ファンモジュールスロット	× 5
使用ケーブル ^{*11}	10BASE-T ^e	UTPカテゴリ - 5以上
	100BASE-TX	
	1000BASE-T	UTPエンハンスト・カテゴリ - 5以上
パフォーマンス	スイッチング方式	ストア&フォワード/カットスルー ^{*11}
	最大パケット転送能力 (装置全体/64Byte)	2.80Gpps
	スイッチング・ファブリック	6.40Tbps
	メモリー容量	フラッシュメモリー 128GByte メインメモリー 16GByte
	VLAN登録数	4,094個 (VID=1~4,094)
	MACアドレス登録数	96K ^{*12}
	IPv4ホスト (ARP)登録数	48K ^{*12}
	IPv4ルート登録数 ^{*13}	60K ^{*12}
サポート機能 【ベーシック機能】	AMF Plus マスター機能 (2台までのAMF Plusメンバー管理)、 AMF Plus メンバー機能、RIPv1/v2、OSPFv2 (64ルート)、 IPv4スタティックルーティング、IPルートフィルター、 ハードウェアパケットフィルター、マルチホーミング、 グレースフルリスタート (リスタート機能/ヘルパー機能)、 VLAN (ポートベース/IEEE 802.1Qタグベース/IPサブネットベース/プロトコルベース)、 マルチプルVLAN、QoS (IEEE 802.1p/ポリシーベース/メータリング/シェーピング)、 ポートトランッキング (IEEE 802.3ad LACP/Manual Configuration)、 パケットストームプロテクション (ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習ユニキャストパケットフィルタリング)、 スパンニングツリー (IEEE 802.1D/IEEE 802.1w/IEEE 802.1s)、 BPDUガード、BPDUフィルター、スパンニングツリーポートファスト、ETS、ポート帯域制限、ポートミラーリング、リモートミラーリング、 ポートセキュリティ、アクティブファイバーモニタリング ^{*14} 、LLDP、LLDP-MED、Voice VLAN、ループガード (LDF検出/MACスラッシング検出)、 パケットストームプロテクション、 BFD (Bi-directional Forwarding Detection)、ローカルRADIUSサーバー、 RADIUSクライアント、IGMPv2/v3スヌーピング、EAP/BPDU透過、 Jumboフレーム対応 ^{*15} 、 LD-VCS (ロングディスタンススーパーチャルジャースタック) ^{*16} 、 バーチャルチャルジャースタック、スイッチポートレジリエンシーリンク、	
	BOOTP/DHCPリレー、DNSリレー、DHCPサーバー、DHCPクライアント、 DHCPスヌーピング、IPv6 Basic、IPv6スタティックルーティング、 VRRPv3、IPv6-SNMPv1/v2c/v3、NTPv6、 DNSv6クライアント/リレー、DHCPv6サーバー、 DHCPv6クライアント、DHCPv6リレー、DHCPv6-PD、RAガード、 Pingボーリング、ARP、プロキシ ARP、ローカルプロキシ ARP、ディレク ティブブロードキャスト転送制御、UDPブロードキャストヘルパー、 SMTP認証、ログ (外部メディア出力対応)、スクリプト、トリガー、USBトリガー、 NTP、Secure Shell、 TFTP/Zmodem/HTTPによるソフトウェア/設定ファイルダウンロード、 HOLプロセッシング防止、Findme	
	無線LANコントローラー機能 (5台までの無線AP管理) 電波管理、無線APの登録・編集・オペレーション、無線AP一覧表示、 無線APの情報表示、AWC計算履歴表示、管理対象APの検索、 言語選択 (日本語/英語)	
サポート機能 【ライセンス機能】	AMF Plus マスターライセンス (1年/5年/7年の利用期限付) ^{*17} 最大300メンバー管理のAMF Plus マスター機能 10メンバー用AMF Plus マスター機能 基本ライセンス (AT-SW-APM10) 10メンバー用AMF Plus マスター機能 追加ライセンス (AT-SW-APM10ADD) 無線LANコントローラーライセンス (1年/5年/7年の利用期限付) ^{*17} 最大300AP管理の無線LANコントローラー機能 10AP用無線LANコントローラー機能 基本ライセンス (AT-SW-WL10) 10AP用無線LANコントローラー機能 追加ライセンス (AT-SW-WL10ADD) 無線チャンネルプランケットライセンス<AWC-CB+AWC-SC> (1年/5年/7年の利用期限付) ^{*17} 最大300AP管理の無線チャンネルプランケット機能 10AP用無線チャンネルプランケット機能 基本ライセンス (AT-SW-CB10) 10AP用無線チャンネルプランケット機能 追加ライセンス (AT-SW-CB10ADD) 最大300AP管理の無線スマートコネクタ機能 10AP用無線スマートコネクタ機能 基本ライセンス (AT-SW-CB10) 10AP用無線スマートコネクタ機能 追加ライセンス (AT-SW-CB10ADD) Allied OneConnectライセンス (AT-A1C-Lite) (1年の利用期限付) ^{*18} Allied OneConnect対応	
LED	QSFP+/QSFP28スロットLED ^{*19} 40G/100Gポート時 (4個のLEDをすべて使用) L/A 緑 40/100Gbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅 10G×4ポート時 (1ポートにつき1個のLEDを使用) L/A 緑 10Gbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅 ステータスLED SYS 緑 電源供給時に点灯、起動中および異常発生時に点滅 VCS 青 VCS機能が有効で、スタックメンバーのマスターとして動作時に点灯 黄 VCS機能が有効で、スタックメンバーのスレーブとして動作時に点灯 マネージメントポートLED L/A (左側) 緑 リンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅 SPD (右側) 緑 100/1000Mbpsでリンク確立時に点灯	
電源部	定格入力電圧	AC100-120V AC200-240V ^{*20}
	入力電圧範囲	AC90-264V ^{*20}
	定格周波数	50/60Hz
	定格入力電流	5.0A 2.5A
	—	最大入力電流 (実測値) 平均消費電力 平均発熱量 AT-QSFP28ZR4 × 22個使用時 4.7A 370W 1300kJ/h (最大421W) (最大1700kJ/h) AT-QSFP28LR4 × 30個使用時 4.5A 360W 1300kJ/h (最大409W) (最大1600kJ/h) AT-QSFP28SR4 × 32個使用時 3.7A 290W 1000kJ/h (最大335W) (最大1300kJ/h) — AT-PWRSYS4-70 × 2台、AT-FAN17 × 5台 使用時 AT-QSFP28ZR4 × 22個使用時 4.8A 380W 1300kJ/h (最大429W) (最大1700kJ/h) AT-QSFP28LR4 × 30個使用時 4.7A 370W 1300kJ/h (最大418W) (最大1700kJ/h) AT-QSFP28SR4 × 32個使用時 3.9A 300W 1100kJ/h (最大346W) (最大1400kJ/h)
環境条件	動作時温度	0~40°C
	動作時湿度	5~85% (結露なきこと)
	保管時温度	-25~70°C
	保管時湿度	5~95% (結露なきこと)
外形寸法	440 (W) × 490 (D) × 44 (H) mm (突起部含まず)	
質量	7.7Kg ^{*21}	
パッケージ内容 ^{*8}	本体、19インチラックマウントキット (1式)、梱包内容、本製品をお使いの前に、サポートサービスに関するご案内、英文製品情報 ^{*22} 、製品保証書 (1年間)	

仕様

スイッチ本体

オプション(別売) CentreCOM x980シリーズ用フィーチャーライセンス*24 *25:

AMF Plus マスターライセンス*26	
AT-SW-APM10-1Y-2022	10メンバー 1年
AT-SW-APM10-5Y-2022	10メンバー 5年
AT-SW-APM10-7Y-2022	10メンバー 7年
AT-SW-APM10-1Y-2022 更新用	10メンバー 1年 更新用*27
AT-SW-APM10ADD-1Y-2022	10メンバー 1年 追加
AT-SW-APM10ADD-5Y-2022	10メンバー 5年 追加
AT-SW-APM10ADD-7Y-2022	10メンバー 7年 追加
AT-SW-APM10ADD-1Y-2022 更新用	10メンバー 1年 追加 更新用*27
無線LANコントローラーライセンス	
AT-SW-WL10-1Y-2020	10AP 1年
AT-SW-WL10-5Y-2020	10AP 5年
AT-SW-WL10-7Y-2020	10AP 7年
AT-SW-WL10-1Y-2020 更新用	10AP 1年 更新用*27
AT-SW-WL10ADD-1Y-2020	10AP 1年 追加
AT-SW-WL10ADD-5Y-2020	10AP 5年 追加
AT-SW-WL10ADD-7Y-2020	10AP 7年 追加
AT-SW-WL10ADD-1Y-2020 更新用	10AP 1年 追加 更新用*27
無線チャンネルプランケットライセンス<AWC-CB+AWC-SC>*28 *29	
AT-SW-CB10-1Y-2022	10AP 1年
AT-SW-CB10-5Y-2022	10AP 5年
AT-SW-CB10-7Y-2022	10AP 7年
AT-SW-CB10-1Y-2022 更新用	10AP 1年 更新用*27
AT-SW-CB10ADD-1Y-2022	10AP 1年 追加
AT-SW-CB10ADD-5Y-2022	10AP 5年 追加
AT-SW-CB10ADD-7Y-2022	10AP 7年 追加
AT-SW-CB10ADD-1Y-2022 更新用	10AP 1年 追加 更新用*27
Allied OneConnect ライセンス*18	
AT-A1C-Lite-1D-1Y	Lite版クライアント1台 1年
AT-A1C-Lite-10D-1Y	Lite版クライアント10台 1年
AT-A1C-Lite-100D-1Y	Lite版クライアント100台 1年
AT-A1C-Lite-1000D-1Y	Lite版クライアント1000台 1年
AT-PWRSYS4-70-Z5	AC電源ユニット
AT-FAN17-Z5	スベアファンモジュール
QSFP+モジュール*30:	
AT-QSFP28SR4-Z5	40GBASE-SR4 (MPO) (Rev.B以降)*31
AT-QSFP28LR4-Z5	40GBASE-LR4 (2連LC)
AT-QSFP28ER4-Z5	40GBASE-ER4 (2連LC)
AT-QSFP10CU-Z5	QSFP+ ダイレクトアタッチケーブル (1m)*32
AT-QSFP3CU-Z5	QSFP+ ダイレクトアタッチケーブル (3m)*32
AT-QSFP4SFP10G-3CU-Z5	QSFP+4SFP+ブレイクアウトダイレクトアタッチケーブル (3m)*33
QSFP28モジュール*30:	
AT-QSFP28SR4-Z5	100GBASE-SR4 (MPO)
AT-QSFP28LR4-Z5	100GBASE-LR4 (2連LC)*34
AT-QSFP28ZR4-Z5	100G SMF (80km) (2連LC)*35
AT-QSFP28-1CU-Z5	QSFP28 ダイレクトアタッチケーブル (1m)*32
AT-QSFP28-3CU-Z5	QSFP28 ダイレクトアタッチケーブル (3m)*32
40G スタックモジュール*30:	
AT-QSFP28SR4-Z5	40GBASE-SR4 (MPO) (Rev.B以降)
AT-QSFP28LR4-Z5	40GBASE-LR4 (2連LC)
AT-QSFP28ER4-Z5	40GBASE-ER4 (2連LC)
AT-QSFP10CU-Z5	QSFP+ ダイレクトアタッチケーブル (1m)
AT-QSFP3CU-Z5	QSFP+ ダイレクトアタッチケーブル (3m)
AT-QSFP28 (Rev.E以降) 用光ファイバケーブル*36:	
ET3-MPO08-4LC-5	ブレイクアウト光ファイバケーブル (5m)
ET3-MPO08-4LC-10	ブレイクアウト光ファイバケーブル (10m)
100G スタックモジュール*30:	
AT-QSFP28SR4-Z5	100GBASE-SR4 (MPO)
AT-QSFP28LR4-Z5	100GBASE-LR4 (2連LC)
AT-QSFP28ZR4-Z5	100G SMF (80km) (2連LC)
AT-QSFP28-1CU-Z5	QSFP28 ダイレクトアタッチケーブル (1m)
AT-QSFP28-3CU-Z5	QSFP28 ダイレクトアタッチケーブル (3m)
AT-RKMT-SL01	19インチ スライディング ラックマウントキット
コンソールケーブル*8:	
AT-VT-Kit3	マネージメントケーブル (RJ-45 (メス) /USB)
CentreCOM VT-Kit2	RS-232ケーブル (RJ-45/D-Sub 9ピン)

- ※9 10/100/1000M Full Duplex での接続のみサポートしています。
- ※10 USB 2.0のUSBメモリーをご使用ください。また、ご使用の際には、お客様の使用環境で事前に検証を行ったうえで導入してください。
- ※11 本製品は、状況に応じてストア&フォワードとカットスルーを自動的に切り替えて動作します。カットスルー動作時にエラーバケットやオーバーサブスクライブが発生した場合は、ストア&フォワードに移行し、エラーバケットの転送や遅延変動・輻撃を抑制します。
- ※12 表中では、K=1024
- ※13 インターフェース経路、スタティック経路、ダイナミック経路など、各種経路情報を含めた登録数です。
- ※14 QSFP28光ファイバポートでのみ有効。本機能をサポートするQSFP28モジュールについては、コマンドリファレンスをご覧ください。
- ※15 10240Byte以下
- ※16 対応スタックモジュール装着時
- ※17 基本ライセンスで機能を有効化し、追加ライセンスで管理ノードを追加できます。追加ライセンスで管理ノード数を追加する場合、基本ライセンスの導入が必須となります。
- ※18 Allied OneConnectの使用にはAllied OneConnectライセンスが必要です。Allied OneConnectをサポートする製品、ハードウェアリビジョンとファームウェアは下表をご覧ください。

製品名	ハードウェアリビジョン	ファームウェアバージョン
AT-x980-32CQ	Rev.A以降	5.5.6-0.1以降

- ※19 CLIの設定によって消灯可能 (エコLED)
- ※20 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。
- ※21 以下の標準装備品を含みます。
ファンモジュール×5個、電源ユニットスロット用カバーパネル×1個
- ※22 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。
- ※23 Zは「デリバリースタンド」下1桁目は提供年数を表します。
- ※24 ライセンスのサポートバージョンについてはリリースノートおよび年次リリース/フィーチャーライセンスページをご参照ください。
- ※25 VCS構成でフィーチャーライセンスの各機能を利用する場合は、VCSマスターおよびVCSスレーブの双方に同一のフィーチャーライセンスが必要です。
- ※26 本製品をAMF Plusメンバーとしてご利用される際は、本追加ライセンスは必要ありません。
- ※27 更新専用ライセンスになります。新規購入時の利用可能期間にかかわらず、利用期限付きライセンスを更新する場合は、更新専用ライセンスをご購入ください。
- ※28 AWC-CBを運用するには、無線チャンネルプランケットライセンスと、同数以上の無線AP管理に対応する無線LANコントローラーライセンスの両方が必要となります。
- ※29 AWC-SCを運用するには、無線スマートコネクトライセンスと、同数以上の無線AP管理に対応する無線LANコントローラーライセンスの両方が必要となります。
- ※30 本製品で使用可能なトランシーバーモジュールは製造時期によって複数のハードウェアリビジョンが存在します。ハードウェアリビジョンによって使用可能なファームウェアバージョンが異なる場合がありますので、ご使用前に必ず以下のモジュール対応表をご確認ください。
<https://www.allied-teleasis.co.jp/web-material/products/sw-module-list.pdf>
- ※31 AT-QSFP28SR4をブレイクアウト光ファイバケーブルで接続する場合は、弊社販売品の「ET3-MPO08-4LC-5/10」をご使用ください。なお、AT-QSFP28SR4はハードウェアリビジョン「Rev.E」以降でブレイクアウト光ファイバケーブルをご使用いただけます。
- ※32 ダイレクトアタッチケーブルは、弊社製品同士での接続のみサポート対象となり、他社製品との接続はサポート対象外となります。他社製品との接続が必要な場合は、ダイレクトアタッチケーブル以外のQSFP+/QSFP28モジュールを用いて、事前に十分な検証を行ったうえで接続するようにしてください。
- ※33 QSFP+4SFP+ブレイクアウトダイレクトアタッチケーブルのQSFP+側は、本製品での使用のみをサポートしています。接続製品についての詳細は、弊社ホームページをご参照ください。
- ※34 最大30個まで使用できます。
- ※35 最大22個まで使用できます。
- ※36 AT-QSFP28SR4での使用はサポート対象外です。

- ※1 マネージメントポート使用時
- ※2 対応QSFP+/QSFP28モジュール装着時
- ※3 IEEE 802.1w Rapid Spanning Tree 包含
- ※4 IEEE 802.1s Multiple Spanning Tree 包含
- ※5 IEEE 802.3ad と同等
- ※6 トラップ情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
- ※7 Q-BRIDGE-MIBのみサポート
- ※8 本製品にはコンソールポート接続用ケーブルは同梱されておりません。また、出荷時はIPアドレスが付与されておりませんので、別途、マネージメントケーブル「AT-VT-Kit3」またはRS-232ケーブル「CentreCOM VT-Kit2」をご用意ください (AT-VT-Kit3には、別売のUTPケーブルが必要です)。
なお、AT-VT-Kit3のUSB使用時の対応OSは、弊社ホームページにてご確認ください。

仕様

電源ユニット

AT-PWRSYS4-70 AC電源ユニット		
LED	緑	電源ユニットへの電源供給時に点灯、待機状態時に1秒ごとに点滅、電源ユニットのファームウェア更新時に0.5秒ごとに点滅
	橙	電源ユニットに電源が供給されていないときに点灯(電源冗長構成によりもう一方の電源ユニットが動作している場合) 電源ユニットのファン、温度、電圧/電流異常発生によるシャットダウン時に点灯 電源ユニットのファン、温度、電圧/電流異常発生時に点滅
	STATUS	
定格入力電圧	AC100-120V	AC200-240V ^{*20}
入力電圧範囲	AC90-264V ^{*20}	
定格周波数	50/60Hz	
定格入力電流	12A	10A
外形寸法	74 (W) × 185 (D) × 40 (H) mm (突起部含まず)	
質量	910g	
パッケージ内容	本体、AC電源ケーブル ^{*19} 、サポートサービスに関するご案内、英文製品情報 ^{*22} 、製品保証書(1年間)	

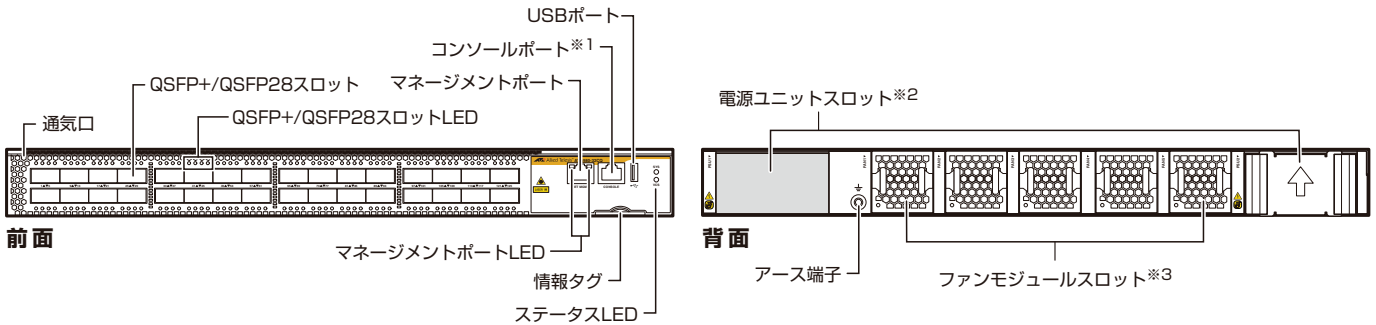
スペアファンモジュール

AT-FAN17 スペアファンモジュール	
LED	STATUS 緑 正常動作時に点灯、ファンの異常発生時に0.5秒ごとに点滅
外形寸法	41 (W) × 113 (D) × 41 (H) mm (突起部含まず)
質量	160g
パッケージ内容	本体、サポートサービスに関するご案内、英文製品情報 ^{*22} 、製品保証書(1年間)

外觀図

スイッチ本体

AT-x980-32CQ



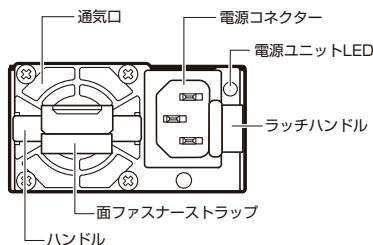
※1 コンソール接続にはオプション(別売)のAT-VT-Kit3またはCentreCOM VT-Kit2が必要です。

※2 電源ユニットスロットのPSU 2(右側)にはカバーパネルが付いています

※3 ファンモジュールスロットにはファンモジュールが5台標準装備されています。

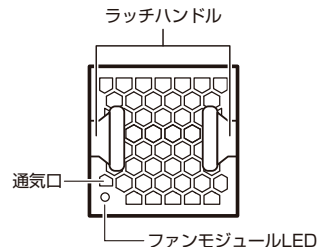
電源ユニット

AT-PWRSYS4-70 AC電源ユニット



スペアファンモジュール

AT-FAN17 スペアファンモジュール



安全のために
ご使用の際は製品に添付されたマニュアルをお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM, SwitchBlade, Secure EnterpriseSDN, AMFramework, AMF PLUS, VCStack, EPSRing, LoopGuard, AlliedView, Vista Manager, AT-VA, AT-AWC, AT-UWC, Allied Telesis Unified Wireless Controller, EtherGRID, Envigilant, Net.Service/ ネット・ドット・サービス, Net.Cover, Net.Monitor, Net.Assist, アライド光, Net.CyberSecurity, ネットドットキャンパス, Net.Pro, Net.AMF, tokalabs, Allied SecureWAN, NetQuestはアライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。●その他記載の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。●仕様および外觀、その他情報は、都合により予告なく変更する場合があります。●お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。●弊社製品は日本国内仕様であり、日本国外に輸出した場合は製品保証および品質保証の対象外となり、サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

ネットワーク構築などのご質問やご相談は

テレマーケティング: 月~金 9:00~12:00 / 13:00~17:30 (祝祭日除く)
E-mail: info@allied-tesis.co.jp

販売店

製品の詳しい情報は(特長、仕様、構成図、マニュアル等)

ホームページ
<https://www.allied-tesis.co.jp/>

アライドテレシス株式会社

各支社、営業所のお問い合わせ先はホームページをご覧ください。

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル 弊社ホームページ>>会社概要>>国内事業所一覧